

# 研究実施のお知らせ

2020年06月15日 ver.1.0

## 研究課題名

眼内レンズ偏位・落下の多施設共同研究

## 研究の対象となる方

2020年5月1日から2021年4月30日の間に当院または別添に記載する病院で眼内レンズ（IOL）偏位・落下と診断され、水晶体再建術等の治療を受けられた方

## 研究の目的・意義

近年では白内障手術件数が年間150万件を超えていますが、その合併症として術後のIOL偏位・落下が生じることがあります。IOL偏位が大きくなれば、視機能障害を自覚し、さらに慢性炎症から続発緑内障に至ることもあり、硝子体内に落下する場合があります。今回、全国的な多施設共同研究としてIOL偏位・落下症例を前向きに調査し、その危険因子および発生頻度を把握することを目的とします。

## 研究の方法

研究協力施設および試料・情報のみ行う機関において、IOL偏位・落下のため手術を要した症例を対象とし、患者背景（年齢、性別、IOL挿入期間、IOL嚢内/嚢外固定、IOL偏位・落下のグレード分類、IOLの種類、水晶体嚢拡張リングの有無）、危険因子（落屑症候群、硝子体手術の既往、外傷の既往、ぶどう膜炎、強度近視、網膜色素変性症、眼擦過癖（アトピー性皮膚炎、アレルギー性疾患、慢性外傷）、その他眼合併症等）、IOL摘出法及びIOL2次挿入法、視力について、匿名化したデータをもとにデータシートを作成し、パスワードを掛けてメールで日本白内障屈折矯正手術学会へ送付します。日本白内障屈折矯正手術学会が回収した資料を研究協力施設でデータ解析します。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）

診療録をもとに取得した上記データをもとにデータシートを作成し、パスワードを掛けてメールで日本白内障屈折矯正手術学会へ送付する。

個人情報の保護について： 調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。ただし、モニタリングのためプライバシーが保護されることを条件に、研究者から業務委託された者が、

あなた個人を特定できる形で診療情報を閲覧することがあります。

## 研究の期間

2020年6月～2023年4月

## 研究組織

この研究は次の機関が参加して行います。

研究代表者（研究で利用する情報の管理責任者）：

広島大学大学院医系科学研究科

医療のためのテクノロジーとデザインシンキング教授 田淵仁志

### 参加研究機関

[研究機関]

戸田ごとう眼科

林眼科病院、

[研究責任者]

後藤憲仁

林 研

### 情報提供機関

[提供機関]

島根大学医学部附属病院眼科

日本白内障屈折矯正手術学会所属機関（別紙 1 参照）

[担当者]

谷戸正樹

## 情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2021年10月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

## 相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

担当者：

島根大学医学部眼科学講座

谷戸正樹

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2284 FAX 0853-20-2278